



女子プロゴルフのステップアップツアー「中国新聞ちゅーピーレディースカップ」(日本女子プロゴルフ協会主催、中国新聞文化事業社・中国新聞社共催)が22、24日、廿日市の若南CC(6545ヤード、パー72)である。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、3年連続での無観客開催。アマチュアを含む108人が出場を予定する。

2012年に始まり、11回目を迎える大会史には、文字通りの飛躍を遂げたトップ選手が名を刻んでいる。13年大会を制した鈴木愛は、レギュラーツアー賞金女王(17、19年)へと駆け上がった。18年大会16位の浅野日向子は、翌19年AIG全英女子オープンで優勝。昨季の賞金女王で、東京五輪銀メダリストの稲見萌寧は、18年大会で14位だった。

今大会の優勝者は、レギュラーツアー「大王製紙エリエールレディースオープン」(11月17〜20日、松山市)の出場権を得る。

(中川豊彦)

飛躍の舞台 いざ激戦

地元プロ2人 復活期す

不振払拭へ熱くスイング



小川陽子

地元での復活を期す2人のプロ選手にも注目だ。15年大会で5位だった福山市出身の小川陽子は「去年から自分のスイングができて、迷いがある」と最近の調子を分析する。悩みから強みのヘッドスピードが落ち、ティーショットの伸びを欠いているという「山



広瀬加奈

陰」緑むす美レディースは予選落ちだったものの、第1日の13番(161ヤード、パー3)でホールインワンを達成するなど、復調の気配も見せる。「積極的なゴルフで自信を取り戻したい」と意気込む。

広島市安佐南区出身の広瀬加奈は、成績不振や体調不良で競技を離れたこともあり、ステップアップツアー出場は昨年のこの大会以来。講師を務める福山市のインドア練習場のスタッフが後押しし、久しぶりの試合に臨む。「応援してくれる皆さんに頑張っている姿を見せたい。まずは予選通過を目指す」と意気込む。

頂点へ燃える中国勢

今年も中国地方ゆかりの選手たちが出場し、頂点を狙って激戦を繰り広げる。

大会初の連覇が懸かる福山市出身の石川怜奈は、今年もステップアップツアーへの出場を重ねて腕を磨いている。7月の「カストロールレディ

ース」は2位に食い込んだ。「調子は悪くない。もう一回、地元で優勝したい」と意気込む。

最近ではティーショットの精

度の向上に手応えを感じている。8月の「山陰」緑むす美レディース「第1日は16ホールでバーオンに成功し、首位を伸ばした。『ドライバーが曲

石川 大会初の連覇狙う

丹 ミス恐れず攻める



丹 萌乃

がらなければ、自信のあるアイアン、パターで決めるゴルフに持っていける」と見据える。

岡山・作陽高出身の丹萌乃

は昨年のプロテストに合格。今年のステップの賞金ランキングは6位につける。18年大会は1打差の2位だった。ミスを恐れない「攻めるゴルフ」を古里での活躍を誓う。

このほか、賞金ランク1位の桜井心那も参戦。地元勢では広島市安佐南区出身の表純子や、同市安佐北区出身で東北福祉大2年の益田世梨らが古里での活躍を誓う。

ちゅーピーCOMで生中継 岡本綾子さん解説

中国新聞ちゅーピーレディースカップはCSのスカイAで生中継されます。解説は、女子プロゴルフ界を長年けん引してきた岡本綾子さん。ちゅーピーCOMでは「ちゅー



私たちも



JLPGAステップ・アップ・ツアー

中国新聞ちゅーピーレディースカップを応援します